

平成30年度第2回青森県医療安全管理者交流会

1. 期 日 平成30年12月7日（金）

2. 会 場 県民福祉プラザ

3. ね ら い

- (1) 県内の医療安全管理者が横断的に情報共有できるネットワークシステムをつくることを推進する。
- (2) 県内の医療安全管理者が顔の見える場を共有し、医療安全に関する最新情報や日々の疑問・課題を相談し合うことで実践的な活動につながるよう支援する。

4. 内 容

- (1) 講演
テーマ：入院による生活機能障害を最小限にする看護の取り組みと安全管理
①地域包括ケア時代の急性期病院看護の役割と安全管理～看護管理者の視点で～
②入院による生活機能障害を最小限にする看護～身体拘束縮小への取り組み～
- (2) ランチ交流会
- (3) グループワーク・発表・講師総評
テーマ：「身体拘束」という安全対策のあり方と現状について考える。
※可能であれば自施設の「身体拘束」マニュアルを持参

5. 講 師

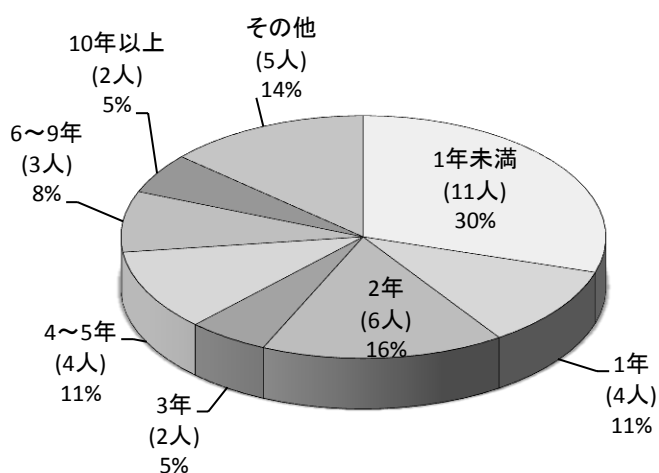
- ①八戸市立市民病院 副院長兼看護局長 川野 恵智子 氏
- ②八戸市立市民病院 教育担当副看護局長 呑香 美佳子 氏

6. 受講者数 40人 （内、非会員2人・委員6人）

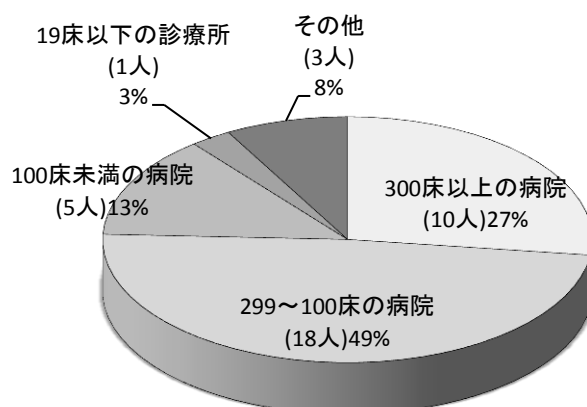
職能別受講者数 保健師 0人 助産師 0人 看護師 40人 准看護師 0人

7. アンケート結果 回収率 93% （配布数 40枚 回収数 37枚）

①医療安全管理者としての経験年数



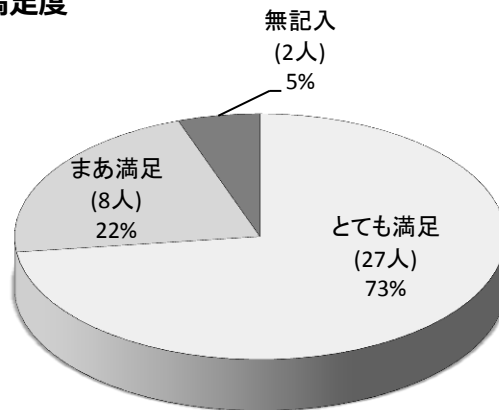
②施設規模



③講演に対する感想など

- ・ 身体拘束解除に向け、どんなケアを提供していけばよいのか、聞くことができ、大変勉強になった。考え方を改めて、アプローチしていく大切さを知った。
- ・ 身体拘束に対する取り組みをたくさん聞くことができ参考になった。（9）
- ・ 現状を見直すいい機会となった。自施設へ持ち帰り、課題を抽出し、看護の質向上のうえ、医療安全に活用したいと思った。（2）
- ・ 自施設の問題を解決できた。
- ・ 夜眠らない患者を昼寝かせない、ではなく眠りたい時に眠らせて良いと分かりびっくりした。
- ・ 点滴やNGチューブを抜去されないように抑制・・・とっていたが、抜かれても何度も入れるから大丈夫との考え方に、驚かされた。
- ・ 具体的な対策やその成果など参考になった。バースデーカードなど関係なさそうなことでも、やる気やモチベーションを高めることで、良い成果につながる事が分かったので、何かやってみたいと思う。
- ・ 看護の力を向上することで、身体拘束を減らすことができると知った。業務をするだけでなく、患者の生活に目を向けることが大切だと思う。
- ・ せん妄予防に対するアセスメントの知識は大切。医療安全の視点で、個別の対応をできるだけ丁寧に行う大切さを学んだ。
- ・ 他施設の身体拘束に対しての取り組みが知れて良かったし、身体拘束の記録に関してはまだまだ不十分なので今日の話合いの結果を持ち帰って検討したいと思う。
- ・ 急性期病院において身体拘束を最小限にしていく取り組みがよくわかった。精神科との共通点や違う点なども理解できたので、病棟での取り組みに活かしていきたいと思う。
- ・ トップの強いリーダーシップにより身体拘束が半減したことがわかった。（5）
- ・ 拘束＝看護の質のワードに光を見た気がする。縮小を目指して当院でも実施できるようにプレゼンしていく。

④グループワークに対する満足度



④の理由

【1.とても満足】

- ・ 自分が日頃考えたい「看護がうすい」は、他の人も思っていたことが分かった。
- ・ 他病院の取り組みを聞き、参考にしたいものがたくさんあったので、良かったです。（15）
- ・ 他施設のマニュアルが参考になりました。色々な意見が聞けて良かった。
- ・ 記録様式や内服管理について悩みが解消できた。

【2.まあ満足】

- ・ 他施設の取り組み方、考え方が勉強になった。（2）
- ・ 他医療機関の情報の中で、共有できるところも多くあり、力強く感じました。（2）

⑤今後交流会で取り上げて欲しいテーマ

- ・ 養成研修会終了後、どのように活用しているか（看護部への働きかけや認定看護管理者や医療安全管理者の活用等）。
- ・ 転倒・転落対策
- ・ 内服薬誤薬防止対策（3）
- ・ 安全対策についてもっと深めてほしい。期間を開けないで、病院・施設を分けて、交流会を取り上げてほしい。
- ・ 地域連携について

⑥交流会に関する意見など

- ・ 顔と名前の表示があると分かりやすい。最後かはじめに毎回集合写真を撮るとか。
- ・ 今後も参加したい。
- ・ 12月は雪が降り、会場まで来るのが大変なので、秋頃にしてもらえると助かる。（3）
- ・ 毎回は出席できないが、とてもありがたい交流会である。
- ・ この交流会は振り返りにもなるので今後も継続してほしいと思う。
- ・ 普段孤独を感じながら働いているので、とても心強い交流会である。悩みや工夫を直接会って話す貴重な場を有難うございます。